



市民創世会  
水津 達夫 議員

**相次ぐ不祥事や業務ミスに対する再発防止策について**

全庁体制の中で職員と一丸となって信頼回復に取り組んでいく。

**問** 一連の不祥事においてどのような対策をし、市長はどのような指導を行ったのか。

**答**市長 研修計画の前倒しを行い、原点から教育するということが非常に重要だと思っている。法令遵守、危機意識の徹底徹底を行い、研修制度の充実を図っていききたい。

**問** 議会からの申入書に対する市長の見解は。

**答**市長 厳しい戒めと今後の取組についての意見をいただき、大変重く受け止めている。今後申入書に沿った内容の中の改善策を進めていきたい。

**サテライトオフィス事業について**

**問** サテライト誘致セミナーの現況は。

**答** 市では今年3月に東京で誘致セミナーを行い、6月にも大阪、東京において都市部のIT関連企業を対象にセミナーを開催、17社18名の参加をいただいている。

8月には、鯖江市で現地視察研修会を行い、東京、群馬、大阪から計6社8名の方に参加していただいた。6社のうち4社が誘致セミナーからの参加であり一定の反響成果がある。

たと認識している。

**問** 今後の展開および市長の見解は。

**答**市長 28年の総務省の事業の中で4社という実績は非常に良かった。今後サテライトオフィス事業の誘致は自治体間の大変な競争になってくる。核になる企業が発展すれば、相乗効果を生むということである。都心も都市部では人材が集まらないということ、地方へのサテライトオフィスの事業の展開になっていく。ものづくりの企業が林立して、オープンイノベーションの中で新しい商品が生まれている。5つの核をどうやって育てていくかが鍵である。

**北陸新幹線について**

**問** 特急乗入れ実現化の方策と展望は。

**答**市長 FGT断念を受け、知事が初めて、利便性確保に特急存続を第一に挙げて頂き、大きな前進である。国の責任で全ての条件をクリアしようとする、サンダーバードの存続を乗換なしでフル規格完成までは国でやってくれと、言い続けていくべきである。次善の策が出れば孤立化しないよう意見調整し、オール福井で進めていきたい。

**問** 特急存続の前提となる接続線の国やJRの考え方は。

**答** 接続線整備は、特



清風会  
林 太樹 議員

急存続に必要不可欠な措置として国の責任で実現されるよう主張してきたが、国は前例のない対応は、消極的姿勢で工事費の試算額提示も受けていない。

**問** 人口減少での第三セクターの採算性は。

**答** 収支改善には旅客サービス向上やマイルール意識の醸成など、利用客増が必要。通勤通学に配慮したダイヤ編成や快速列車の運行は県並行在来線対策協議会で検討される。

**問** 三セク会社への負担額は。また、固定資産税収入額は。

**答** 市町は出資金と経営安定基金を負担することになる。また、負担する自治体が沿線市

**市街地活性化について**

**問** 中心市街地の電線地中化の整備状況は。

**答** 本町1丁目から4丁目区間、旭町清水立体からシティーホテル区間が完成した。総延長約1千350m。事業費約13億8千万円。

**問** 西山公園と市街地一体化のパークシティ構想の進捗状況は。

**答** 市街地への居住の誘導や西山公園の集客力を活かした活性化に取組んでいるが、本町通り商店街複合ビル建設事業の断念で、総合戦略における中心市街地周辺人口の平成31年度末のKPI達成目標の2千人以上を維持することは困難な状況になっている。